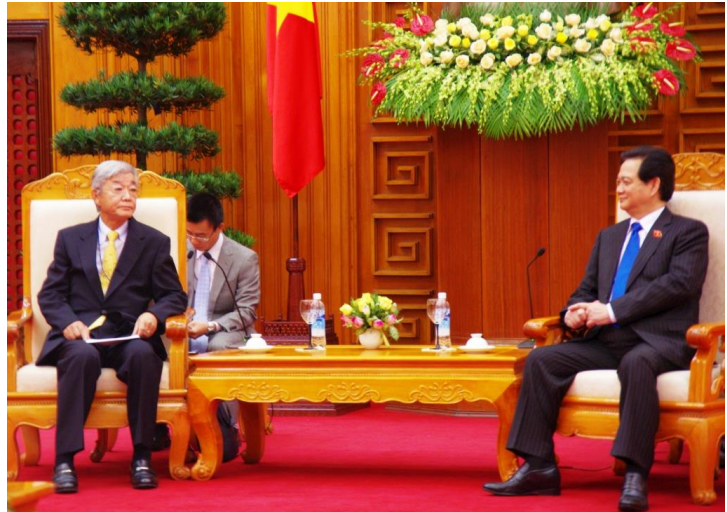


「訪ベトナム経済ミッション」概要報告

日本メコン地域経済委員会

日本・東京商工会議所の日本メコン地域経済委員会（委員長＝渡邊康平・伊藤忠商事(株)相談役）は10月28日（月）から11月2日（土）まで、渡邊委員長を団長に、ベトナムのハノイとホーチミンに経済ミッションを派遣、78人が参加した。

期間中、グエン・タン・ズン首相、ブイ・クアン・ビン計画投資大臣、ブー・フイ・ホアン商工大臣への表敬、ベトナム計画投資省



ズン首相と懇談する渡邊委員長(左)

との第1回協議会を通じた政策対話のほか、ベトナム商工会議所とのビジネス交流会などを行った。

さらに、日越友好40周年の重点事業という側面から、ベトナム計画投資省、在京大使館に本ミッションを全面的にサポートいただき、ハノイ市やホーチミン市周辺の地方政府や工業団地、進出日本企業の視察なども行ったほか、メコンデルタにある13の地方政府等との懇談会を行い、ベトナムの地方政府との関係強化につながる有益な機会となった。

1. 訪 問 先： ベトナム社会主義共和国 ハノイ、ホーチミン
2. 日 程： 平成25年10月28日（月）～11月2日（土）
3. 目 的： 日商・東商が昨年9月に岡村前会頭を団長に派遣した経済ミッションの際にベトナム計画投資省（MPI）と締結した覚書に基づき、①ビジネス環境整備に向けたMPIとの第1回協議会を開催する、②中小企業のベトナムへの進出支援・促進を図る、③日本とベトナムの地域間交流を促進する
4. 参 加 者： 渡邊康平委員会（団長）、衣斐正宏共同委員長（副団長）をはじめ日本メコン地域経済委員会関係者ならびに、全国商工会議所を通じて応募した中小企業関係者総勢78人

5. 主な活動：

(1) ハノイ

①表敬訪問（団長、副団長はじめ一部メンバー）

- 1) グエン・タン・ズン首相への表敬訪問（10月30日）
- 2) ブイ・クアン・ビン計画投資大臣への表敬訪問（10月29日）
- 3) ブー・ファイ・ホアン商工大臣への表敬訪問（10月29日）

②協議会・懇談

- 1) 第1回ベトナム計画投資省との協議会（10月29日）
- 2) マイ・ティエン・ズン・ハナム省人民委員長との懇談会（10月30日）
- 3) ベトナム商工会議所とのビジネス交流会（10月29日）
- 4) 深田博史在ベトナム日本国大使との懇談会（10月28日）
- 5) ベトナム日本商工会との懇談会（10月30日）

③視察

- 1) ドンバンⅡ工業団地
- 2) YOKOWO VIETNAM CO., LTD.
- 3) ティエンソン工業団地
- 4) THK MANUFACTURING OF VIETNAM CO., LTD.
- 5) Honda Vietnam Co., Ltd.

(2) ホーチミン

①懇談（団長はじめ一部メンバー）

- 1) グエン・フォン・クアン・ベトナム南西地域運営委員会副委員長らとの懇談会（11月1日）

②懇談・セミナー

- 1) レー・ホン・クアン・ホーチミン市人民委員長との懇談会（10月31日）
- 2) ディン・クオック・タイ・ドンナイ省人民委員長との懇談会（10月31日）
- 3) メコンデルタ投資・ビジネス懇談会（11月1日）
- 4) 日田春光総領事、ホーチミン日本商工会との懇談会（10月31日）

③視察

- 1) ロンドウック工業団地
- 2) ミンフック工業団地（ベガメックス）
- 3) Vietnam Kirin Beverage Co., Ltd
- 4) 東京急行電鉄（東急電鉄）施設（ビンズン新都市、ソラ・ガーデンズ）

6. 結果概要:

(1) 総括

①ハノイでの主な活動

ハノイでは、MPI との第1回協議会を開催し、2020年までの工業立国を目指すベトナムの工業化戦略について、裾野産業育成策や日本の中小企業が同戦略にどのように貢献していけるのかについて協議した。

また、ズン首相をはじめ、ホアン商工大臣やビン計画投資大臣への表敬を通じて、ベトナムのインフラ整備や裾野産業の育成に向けた日本企業との協力・連携、中小企業の投資促進などについて協議することができた。

中でもズン首相からは、本ミッションの派遣について高い評価をいただくとともに、日本の中小企業の技術を活かした裾野産業育成、ハイテク分野の育成、さらには、地方政府への農業開発、食品加工業などの分野に関して協力の要請を受けた。

このほか、ベトナム商工会議所とビジネス交流会を開催したほか、MPI の協力のもと、ハノイ市周辺の手ナム省、バクニン省、ビンフック省の工業団地や進出日系企業の工場視察を行った。



ズン首相を表敬訪問（10月30日）

②ホーチミンでの主な活動



クァン・ホーチミン市人民委員長との懇談（10月31日）

ベトナムで日本企業の投資が最も多いホーチミンでは、ドアン・スアン・フン在京ベトナム大使に同席いただき、クァン・ホーチミン市人民委員長と懇談し、ホーチミン市の現状や都市交通インフラの整備等、同市の都市開発計画について意見交換した。

また、フン在京ベトナム大使、MPI の協力を得て、クァン・ベトナム南西地域運営委員会副委員長ほか、メコンデルタの13（1市12省）の地方政府代表との懇談や、同地域関係者約70人との懇談会を開催した。メコンデルタはベトナムの米をはじめ、農水産業が栄える地域で、農業生産の効率化、さらには、農水産加工業の育成に関して、日本企業による投資や技術協力を求めるなど、新たな投資先としての可能性を伺う機会となった。

このほか、ホーチミン市に隣接するドンナイ省、ビンズン省を訪問し、工業団地

や進出日系企業の視察を行った。ビンズン省では、東急電鉄が進める都市開発計画や高層マンションの開発について話を伺い、ベトナムにおける生活の質の変化など、新たな成長に向けて動き出しているベトナムの実情を感じることができた。

(2) 表敬訪問、懇談等（ベトナム）

①グエン・タン・ズン首相への表敬訪問

＜10月30日（水）16:40-17:20 於：首相府＞

渡邊委員長、衣斐共同委員長をはじめ委員10人が、グエン・タン・ズン首相を表敬訪問。冒頭、渡邊委員長から、前日にMPIとの第1回協議会を開催したことや、ビン計画投資大臣に要望書を提出し、裾野産業育成のために今後も協力していくことを確認したことなどを報告した。

これを受け、ズン首相は、すでに両国は貿易・投資、雇用、開発援助などさまざまな分野で戦略的パートナーとして良好な関係を築いているが、お互いの潜在力や優位性を生かして互恵的関係をさらに深めていきたいと述べた。また第5フェーズを迎えた日越共同イニシアティブのこれまでの成果を評価するとともに、今後の活動を支持していきたいとの意向が示された。さらにホーチミン市の南に位置するメコンデルタへの農業分野への投資、技術移転について協力要請があった。

②ブイ・クアン・ビン計画投資大臣への表敬訪問

＜10月29日（火）8:30-9:00 於：計画投資省＞



ビン計画投資大臣に要望書を手渡す渡邊委員長(左)

MPI との第1回協議会の前に、渡邊委員長、衣斐共同委員長ほか委員8人がブイ・クアン・ビン大臣を表敬訪問した。まず、渡邊委員長より、昨年9月の覚書締結から取り組んできた日商の事業活動について報告したほか、ベトナムにおける工業化戦略の推進、裾野産業の育成、投資・ビジネス環境整備の観点からとりまとめた要望書をビン大臣に手渡した。

同要望書は、ベトナムの工業化を推進する観点から、重点産業の維持・育成策、裾野産業の育成策をはじめ、基準・認証制度の整備や経済特区、地域総合計画、産業クラスター計画などの必要性について整理したもの。また、日本の中小企業の投資促進という観点から、ワンストップサービス機関の設置についても提案した。

これに対してビン大臣からは、MPI と日商が協力して工業団地を選定し、日本の中小企業が進出しやすい環境を整備し誘致してはどうかとの提案があった。さらに投資環境改善のため、ワンストップ窓口を設置すること、サービス規制の緩和、国内産業の維持、裾野産業の育成などについて具体的な共同計画を作っていきたいと

の話があった。渡邊委員長からは、中小企業の工業団地の選定、外資規制の緩和などをどう進めていくか、日本メコン地域経済委員会事務局を窓口として全国各地商工会議所の声も聞きながら意見集約したい旨を述べた。

③ ブー・ファイ・ホアン商工大臣への表敬訪問

＜10月29日（火）17:00-17:30 於：商工省＞



ホアン商工大臣を表敬訪問（10月29日）

渡邊委員長、衣斐共同委員長ほか4人がブー・ファイ・ホアン商工大臣を表敬訪問した。

冒頭、渡邊委員長は、ベトナムが質の高い経済成長を進めていくためには、工業化戦略の柱となる裾野産業の育成が重要であると話し、そのうえで、日本の中小企業の進出は裾野産業の育成に貢献でき、商工会議所の大きな役割といえると説明した。

これに対してホアン商工大臣は、日越両国間の経済ミッションが増加している。経済連携協定締結以降、日本との貿易額、日本からの投資も増加傾向にあり、両国の経済関係の緊密化は着実に進んでいると説明。そのうえで、「ベトナムでは、日本の中小企業の投資誘致を図る重点地域を設定したいと考えているので、ぜひとも、日商の協力をお願いしたい」と述べた。

④ 第1回ベトナム計画投資省との協議会

＜10月29日（火）9:00-12:30 於：計画投資省＞

昨年9月の日商と計画投資省との覚書に基づき、初めての開催となった協議会には、両国あわせて約120人が参加した。冒頭、ド・ニャト・ホアン計画投資省外国投資庁長官ならびに渡邊委員長が挨拶し、その後、グエン・ティン・トゥ・アン・ベトナム中央経済研究所副長官が、ベトナム2020年工業化戦略の重点産業と裾野産業育成策について基調講演を行った。



MPIとの第1回協議会を開催（10月29日）

全体会議では、工業化戦略重点産業6分野の中から「自動車・自動車部品」「電子・電気」「環境・省エネ」の3分野をテーマに議論。ベトナム側から各分野の行動計画の策定状況や育成の狙いについて解説し、日本側からは、進出日本企業のビ

ビジネス環境に関する問題点や、裾野産業育成のために求められる政策、さらには、ベトナムに進出している中小企業が直面している課題などについて説明し、意見交換した。

⑤マイ・ティエン・ズン・ハナム省人民委員長との懇談会

＜10月30日（水）9:00-9:50 於：ハナム省人民委員会＞



ハナム省人民委員長と懇談（10月30日）

ハノイ市から車で1時間のハナム省の投資・ビジネス環境を視察するため、同省人民委員会を訪問し、マイ・ティエン・ズン人民委員長と懇談した。

ズン委員長は、同省が裾野産業育成という観点から開発を進める工業団地や工場アパートの建設状況について説明。日本企業を積極的に誘致する観点から設置した専門窓口を紹介するとともに、電力インフラの整備

や生活環境、人材供給など、日本企業に約束する10項目を紹介した。

⑥ベトナム商工会議所とのビジネス交流会

＜10月29日（火）14:30-17:00 於：ベトナム商工会議所＞

日本側、ベトナム側あわせて200人以上が参加。ブ・ティエン・ロック会頭、渡邊委員長が両商工会議所を代表して挨拶。その後、日本側参加企業10社からの自社PRの後、名刺交換会が行われ、各社の事業活動や両国企業間の事業協力の可能性等について、情報交換がなされた。

VCCI とのビジネス交流会の様子（10月29日）



⑦深田博史在ベトナム日本国大使との懇談会

＜10月28日（月）18:30-20:30 於：ホテル・ニッコー・ハノイ＞

ミッションの各種会合に先がけ、深田大使から現地の政治・経済情勢や日越関係について話を伺った。深田大使は、我慢強い国民性、平均年齢の若さ、賃金面の比較優位性、日本への強い信頼感など、ベトナムの数多くの優位性を高く評価しつつも、今後も持続的な成長を実現させるためには、ベトナム政府による、構造改革を推し進める必要があると指摘。さらに、自らが責任を持って産業政策を打ち立て、推し進める意志がないと、ベトナムは2015年のASEAN 共同体構築後、他国との競争に打ち勝つことはできないと強調した。

⑧ベトナム日本商工会との懇談会

＜10月29日（火）18:30-20:30 於：ホテル・ニッコー・ハノイ＞

ハノイ市周辺の投資・ビジネス環境を視察する前に、佐藤元信ベトナム日本商工会会長をはじめ、同商工会役員企業との懇談会を行い、進出日本企業を取り巻くベトナムのビジネス環境について意見交換を行った。

佐藤会長は、ベトナムの立地条件やポテンシャルの可能性を示したうえで、成長を足止めする要因として、ベトナムならではのビジネス慣行や、賃金の上昇やストライキ問題、国営企業の改革などの課題について説明した。

（3）視察

①ドンバンⅡ工業団地視察

＜10月30日（水）10:00-10:30 於：ドンバンⅡ工業団地＞

ドンバンⅡ工業団地の概要について、ハナム省の日本専門窓口のアドバイザーを務めるベトナム投資支援センターの中川良一代表から説明を受けた。また、同工業団地の日本企業で構成する工業団地組合の委員長を務める、住友電装の子会社である Sumi Vietnam Wiring Systems Co., Ltd. の南部輝秋社長から、同社がベトナムで取り組むワイヤーハーネスの製造・加工および販売の事業内容や、ハナム省の投資・ビジネス環境などについて事例発表していただいた。

②YOKOWO VIETNAM CO., LTD. 視察

＜10月30日（水）10:30-11:30 於：YOKOWO VIETNAM CO., LTD. ＞

ドンバンⅡ工業団地内にある、車用アンテナ等の通信機器部品の製造を行う、ヨコオのベトナム工場を視察した。同社は既に、中国などにも進出しており、チャイナプラスワンという観点から、ベトナム工場での増産を目指している。

視察では、同社の清水雅樹社長に工場内をご案内いただきながら、自動車用アンテナを製造する同社の事業概要やベトナム人従業員の人材育成、投資環境等について説明を受けた。



YOKOWO VIETNAM CO., LTD.の外観

③ティエンソン工業団地視察

＜10月30日（水）13:00-13:45 於：ティエンソン工業団地＞

ハノイ市から車で1時間のところにあるバクニン省の主要工業団地であるティエンソン工業団地を訪問。

同工業団地を運営するビグラセラ社のレ・ゴック・ウオツ社長から、ティエンソン工業団地の概要について、その特徴や進出企業の状況、さらに、同社が他に手掛ける工業団地の情報や、バクニン省の投資・ビジネス環境等について説明を受けた。

④THK MANUFACTURING OF VIETNAM CO., LTD. 視察

＜10月30日(水)13:45-14:30 於：HK MANUFACTURING OF VIETNAM CO., LTD.＞

ティエンソン工業団地内にある、LMガイドのパイオニア、THKのベトナム工場を視察した。同工場は、第1期工事を終えたばかりで、現在、家具等に使われるスライドレールの製造が行われている。今後、第2期、第3期と工場の拡張を進めていくことになっている。同社の松田稔貴社長から、工場の概要や人事制度、人材育成をはじめ、ベトナム進出のポイント等について説明を受けた。



THK 工場内の視察の様子

⑤Honda Vietnam Co., Ltd. 視察

＜10月30日(水)15:30-16:30 於：Honda Vietnam Co., Ltd.＞

ハノイ国際空港の近くにあるビンフック省内にあるホンダのベトナム工場では、現在、バイクや車だけでなく、船のエンジンや除雪機、発電機等の製造も行っている。同社の小沢克行総務部長から、ベトナムにおけるホンダの事業展開の歴史や、工場の概要、人事制度、人材育成について説明を受けるとともに、工場内を視察し、バイクの国内生産確立までの取り組み、ベトナム進出のポイント等について説明を受けた。

(4) 懇談、セミナー（ホーチミン）

①レー・ホン・クァン・ホーチミン市人民委員長との懇談会

＜10月31日(木)18:30-19:15 於：ホーチミン市人民委員会＞



クァン人民委員長と懇談する渡邊委員長（左）

ミッション一行は、ホーチミンに到着後すぐに人民委員会を訪問し、レー・ホン・クァン人民委員長と懇談した。

クァン委員長は、同市の経済成長に関して日本企業が大きな役割を担っている現状に触れ、引き続き日本との関係強化に努めていきたいと述べた。さらに、日本企業のさらなる投資を求めて、日本企業が投資をしやすいビジネス環境整備に努めている

ことや、MRT等の都市交通インフラ整備にも力を入れている現状について説明し、インフラ開発の面からも協力を求めた。

②ディン・クオック・タイ・ドンナイ省人民委員長との懇談会
<10月31日(木) 13:30-14:20 於：ドンナイ省人民委員会>

ホーチミン市に隣接するドンナイ省の投資・ビジネス環境を視察するため、同省人民委員会を訪問し、ディン・クオック・タイ人民委員長と懇談した。



ドンナイ省人民委員長と懇談（10月31日）

タイ人員委員長は、同省が空港、港湾といった交通インフラを有効活動できる好立地条件にあることに触れ、日本のみならず、各国からの投資が活発である実情について説明した。その一方で、産業基盤強化の観点から裾野産業育成に力を入れており、日本企業の投資を強く求めたほか、現在、日本企業が同省で進める工業団地の開発に注目していると述べた。

③グエン・フォン・クアン・ベトナム南西地域運営委員会副委員長らとの懇談会
<11月1日(金) 8:30-9:20 於：ニューワールドホテルサイゴン>



クアン南西地域運営委員会副委員長らと懇談（11月1日）

渡邊委員長ほか、委員会メンバー10人が参加し、グエン・フォン・クアン・ベトナム南西地域運営委員会副委員長ほか、メコンデルタの1市12省の人民委員長、副委員長ら代表との懇談会を行った。本懇談会には、フン在京ベトナム大使、ホアン計画投資省外国投資

庁長官も同席した。

懇談会では日本側より、メコンデルタにおけるインフラ開発計画や、農業生産の効率化に向けた戦略、交通インフラをはじめとする物流網などについて関心を示した。これに対して、クアン副委員長は、現在、メコンデルタで進められている159のプロジェクトを紹介し、「インフラ事業への日本企業の参画はもちろん、洪水被害に対する危機管理体制の強化、さらには、農産品の品質管理、品質向上、農業機械分野での支援、協力を強く求めている」と述べた。

④メコンデルタ投資・ビジネス懇談会

＜11月1日（金）9:30-11:30 於：ニューワールドホテルサイゴン＞

メコンデルタ1市12省の関係者が集まりセミナー形式で開催した本懇談会には、日本側60人、ベトナム側69人の計129人が参加した。

まず、フン在京ベトナム大使、渡邊委員長が両国を代表して挨拶した後、クエン南西地域運営委員会副委員長が、メコンデルタの経済情勢と投資環境について基調講演を行った。その後、ホアン計画投資省外国投資庁長官がコーディネーターを務め、参加者によるインタラクティブな意見交換が行われた。



日越両国あわせて129人が参加

日本側からは、農産品の品質管理等の安全対策、物流網・インフラの整備状況、ベトナム南部の魅力や日本企業への期待、メコンデルタの総合開発計画等について質問した。一方で、メコンデルタ側からは、日本企業の投資拡大を図るために必要な投資環境整備、食品加工業への協力や人材育成支援、環境対策などに関する質問があった。

⑤日田春光総領事、ホーチミン日本商工会との懇談会

＜10月31日（木）19:30-21:30 於：ニューワールドホテルサイゴン＞

ホーチミン滞在の機会を利用して、日田ホーチミン総領事から現地事情についてお話を伺うとともに、山口貴美雄ホーチミン日本商工会会長ら幹部との懇談を行った。日田総領事は、ベトナム経済をけん引するホーチミンの経済情勢について説明する中で、国内市場が着実に成長している背景に触れるとともに、今後、南部経済回廊の開発が進むとますますホーチミンの魅力は高まっていくだろうと説明した。

（5）視察（ホーチミン）

①ロンドウック工業団地視察

＜10月31日（木）15:00-16:00 於：ロンドウック工業団地＞



ロンドウック工業団地事務所の外観

ドンナイ省内にあるロンドウック工業団地の上原敦社長から、工業団地の概要について説明を受けた。同工業団地は、双日、大和ハウス工業など、日系企業が開発する工業団地。南部経済回廊の重要港として開発が進むカイメップチーバイ港をはじめとする交通インフラが、投資の際の大きな要素となっていると説明した。

また、同工業団地内で、日本のモノづくり中小企業の共同進出支援を展開しているザ・サポートに参加する井上伸哉氏（クエスト代表）から、ザ・サポートによるインキュベーションファクトリーの運営体制や、事業活動について説明を受けた。

②ミーフック工業団地（ベガメックス）視察

＜11月1日（金）13:10-13:40 於：ベガメックス事務所＞

ビンズン省が設立した工業団地運営会社のベガメックス社の植松完二マーケティング部副部長から、同省内にあるミーフック工業団地の概要や、日本企業の投資に関するサポート体制、さらには、今後の開発計画などについて説明を受けた。

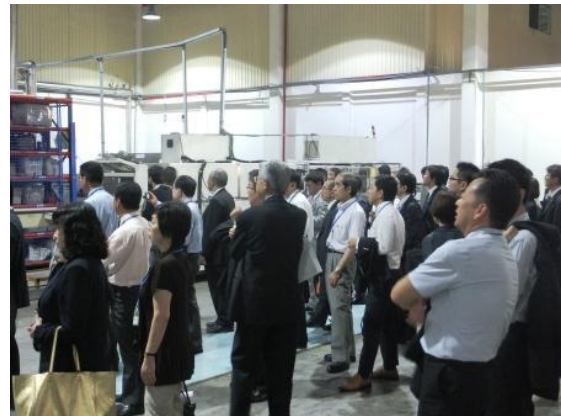
さらに、ベガメックスの支援により、現地で日本語教育をはじめ、ベトナム人の教育事業を展開する寺子屋（日本語教育センター）の碓祐一センター長から、同社の取り組みについて事例発表いただいた。

③Vietnam Kirin Beverage Co., Ltd. 視察

＜11月1日（金）14:00-14:50 於：Vietnam Kirin Beverage Co., Ltd.＞

キリンが現地企業との合弁により事業展開する取り組みについて、古谷文明社長から話を伺った。

日本の最新技術を現地生産の体制に合わせて確立させ、清涼飲料の製造を進める同社は、輸出を中心にオペレーションが組まれている。工場内の視察をしながら、工場の概況や従業員の雇用、勤務体制、人材育成などについて説明を受けた。



工場視察の様子

④東急施設（ビンズン新都市、ソラ・ガーデンズ）視察

＜11月1日（金）15:10-16:00 於：ベガメックス東急＞



新都市の模型前で今後の都市開発をヒアリング

東急電鉄が、ベガメックス社との合弁により、ビンズン省の都市開発に取り組んでいる。

同社現地法人の中田泰行社長から、ビンズン省の新都市開発計画の概要や、マンションプロジェクト（ソラ・ガーデンズ）について説明を受けるとともに、セールスギャラリーを訪問し、モデルルームやパネル・模型等の展示を見学した。

以 上